

穂別

穂別地区6月末住基人口 3,431人

Hobetsu

地域自治区だより



<発行元> 〒054-0211

むかわ町穂別2番地1

むかわ町穂別総合支所 地域振興課

TEL(0145)45-2111

FAX(0145)45-3048

第33回穂別地域協議会の開催結果

平成18年にスタートした地域協議会制度ですが、その第1期委嘱委員の任期最後となる、平成21年度第4回（通算第33回）穂別地域協議会が7月9日に開催されました。この会議では、任期3年間の総括と、次期協議会委員に引き継いで行くための意見について協議が行われました。

第33回地域協議会の内容の概要は次の通りです。

《報告事項について》

① 「穂別診療所の入院棟復活など、医療現場の早期正常化を図ること」の意見書提出について

〔説明事項〕第32回協議会で協議された「診療所の早期正常化要望」意見書を作成し、6/23に久保田会長から山口町長に提出されました。山口町長からは、全国的な医療スタッフの不足傾向から必要な確保が出来ないこと、現在の固定医が恒久的な体制ではないため、これまでの地域医療のあり方を再考する機会ともなっており、今暫くの時間が必要。との説明を受けたことが報告されました。

〔委員意見〕穂別地区における診療所の存在は、合併時にも確認されている最優先課題。なぜ未だに確保が出来ないか納得いかない。新聞記事でも報道された転換策についても全く初耳の話で地域不安が高まっている。医師確保のための医師住宅整備についても説明不足。行政に対しても医師に対しても不信感が募る。

《協議事項》

② 穂別地域協議会第1期協議会委員の活動総括については、次のとおりです。

1 地域協議会制度全般について

・地域協議会制度は、地域の課題を地域がどう捉え、地域として解決方策を検討できる良い制度であります。今後は、地域協議会委員だけではなく住民がどう参画して地域全体としての取組みにしていけるかが課題となっております。そのための一つとして、各団体から選出されてくる委員については、その団体内での位置付けを明確にして活動しやすいようにするなど環境整備にも力を入れるべきですし、委員自身の自覚を高めることも重要なことだと思います。

2 地域協議会の委員体制について（選出母体、選出方法、公募委員の割合、人数等）

・委員数（現行15名）については、欠席数がある程度考慮してもう少し多くした方が良いと思われますし、出来るのであれば女性や若者を委嘱することにより、次世代を担う子どもの視点を取り入れることや、地域コミュニティの代表としての次の自治会を担う人材による委員体制づくりを行い、求心力のある意見反映が出来るようにするべきと思われます。

3 地域協議会での協議内容について

・地域には沢山の課題があり、地域協議会として取り組める課題かどうかの判断基準もなく、苦勞をしました。今後は、これまでの協議結果の上に立って取組みを進めて頂きたい。そのために、町民の目で判断することは大事だが、課題発掘から解決策まで、違った視点で見ることの出来る町外者の意見を聞く機会等についても考慮していくべきだと思います。

・行政側のサポートの仕方として、或いは委員自身の課題としても地域に認知された活動展開に結びつけていく取組みが必要であると思われます。

4 今後より良い組織・体制としていくための改善策について

・次期協議会の会議運営にあたっては、意見の出し易い雰囲気づくりを行うほか、出席率の向上を目指した取組みを行っていくことが望まれます。そのためにも、あらかじめ会議のテーマや基礎情報が得られた上で会議に臨むのが理想的なので、可能な範囲での会議資料の事前配布を行うべきです。

・議論がなかなかみ合わないことと、多くの課題を議論するため、結局結論があやふやなまま終わってしまった会議もあったので、会議ごとに協議結果をまとめ確認することも必要です。

・行政側からの話をもう少しコンパクトにして、委員が話し合う時間を多くする工夫が必要と思われます。

（裏面に続く）

- ・堅苦しくない協議の場とするため、委員間の親交を深めたり、会議の進行を考える必要があります。
- ・委員の出席率を高めないと、話が堂々巡りになったり、前に進まないことも多いので出席しやすい日程設定に配慮することも必要です。

5 その他意見

- ・地域のことをしっかり議論できる人選を行い、地域の活性化につながる有効な議論ができることをこれからの委員に期待します。
- ・「景観宣言」や「花・緑いっぱい隊」活動は一つの成果であり、これからも地域全体の取組みとなるよう今後も支援されたい。

③ その他 各委員からの任期満了に当たっての感想・意見は次のとおりです。

- 〈上野委員〉確かに堂々巡りもあったが、一定の方向性が出来たことは良かった。会議出席が出来なくて申し訳なかったので、次期委員選出にあたってはその辺の考慮して欲しい。
- 〈鎌田委員〉会議ごとに1回1回議事録のように確認できれば良いのではないか。
- 〈高野委員〉出席は出来たと思うが、責任の重さから不安もあった。当初は強い気持ちで取り組めたが、最後の方は小さくなってしまって欠席も増えた。反省しています。穂別のまちが花で一杯になることを願っています。ありがとうございました。
- 〈高橋委員〉仕事のこともあり、出席できなかった。会議に出られる人を選んでもらいたい。
- 〈田中委員〉大変勉強になった、レンギョウ植えも寒かったけれども良かった。これからも穂別のために頑張りたいと思っています。
- 〈土屋委員〉自分の頭のハエも追えないのに…、まちのことまで考える余裕がなかった。しかし、勉強になった。
- 〈中村委員〉33回もやってきたのかと今更ながら驚いている。しかし、その中でどれだけ発言が出来たかと思ってしまう。最初の頃は報道陣まで入りとても発言できる雰囲気ではなかったが、結局、そうでなくてもあまり発言できなかった。しかし、穂別全体のことを考える機会にもなり、自分のためには良かった。
- 〈宮田委員〉出席率はクリア出来たが、意見を出せず反省しています。どうしても夜の会議がダメなのでどうして委員になったか反省している。今日、委員公募のチラシ入ったが、内容を見て改めて認識したが、自分の身には責任が重たかった。
- 〈森委員〉私は5割くらいの出席率ということだったが、農協役員4人の内3人が農業委員になっており、私しかなれなかった。今度は職員から出すことも検討しているが、8割をクリアする職員がいるかということと困難。頭を痛めている。
- 〈山口委員〉話をまとめることがいかに困難かつづく感じた。事前の資料提供など意見が出やすい運営により、早期の結論も可能になるのではと思う。次期委員に期待したい。
- 〈久保田会長〉個人的に責任を感じすぎてしまった。力不足もあり、年齢から来るハンデもあり、議事運営に支障を与えてしまった。私が会長にならなければ違った3年間になったかも知れない。申し訳ないがこの任期で降ろさせて頂く。これからは花いっぱい隊もあるので出来る限りの活動をしていく。ありがとうございました。
- [横山副町長からの挨拶] 地域協議会は、穂別地区の合併に伴う不安・不満に応える手段として実現したものの。今や、行政が何もかも独占する時代は終わり、地域のことは地域が自己決定・責任でやっていく時代。その機関車役が地域協議会に求められている。この3年間、委員の皆様は大変な苦勞をしてきたが、「自然と笑顔が溢れる美しいまち、穂別」をテーマに掲げ、数々の意見具申などその役割を果たしてきました。毎月1回ペースで殆ど無報酬でご尽力頂いた皆さんに心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

私達は、『自然と笑顔が溢れる美しいまち、穂別』実現のため、花・緑いっぱい隊活動に取り組んでいます。

穂別「景観宣言」では、穂別の景観維持のため、環境美化（草刈り）・花いっぱい運動の奨励、ゴミの不法投棄防止と植林・樹等エコ活動への積極的な参加を決意し、地域全体の活動となるよう呼びかけております。是非ご参加をお願いします。

第1回花いっぱいコンクール開催結果

第1回花いっぱいコンクールを開催し、団体（学校等）の部に4件、個人の部に9件の応募がありました。初めての取組みであったため、周知不足もあってか、応募件数は予想を下回りました。応募された方以外でも沢山の花いっぱい運動の取組みもあったかと思いますが、これからの振興を願って審査致しました。

【審査結果】*町民センターで展示パネルを設置しております。

団体の部：《審査員奨励賞》～仁和小学校、穂別小学校、富内小学校、仁和中学校

個人の部：《審査員奨励賞》（柏会）多村みち子さん、藤井哲郎さん、遠藤勝美さん、大竹洋子さん

（共和会）藤江恵子さん（緑ヶ丘）野村光男さん、（明穂会）平野 正さん

*第1回目として、競う目的ではなく、これからの振興を促す意味で奨励賞とさせていただきます。